

## 新約聖書の中の祈り 第 9 回

## □「新約聖書の中の祈り」のアウトライン

1. イエスの祈り
2. 福音書における他の祈り
3. 使徒の働きにおける祈り
4. 書簡における祈り

□「イエスの祈り」のアウトライン・・・福音書の中から、イエスの祈りについて 22 の事例を取り上げ、それぞれに祈りの場所や時間、そのときの姿勢、祈りの内容、そして祈りがどのように答えられ、どのような出来事につながっていったか、などを見る。

1. 洗礼を受けたときの祈り
2. 第一のメシア的奇跡をはさんでの祈り
3. 十二使徒を選んだときの祈り
4. 五千人の給食を前にしての祈り
5. 五千人の給食の後の祈り
6. 四千人の給食のときの祈り
7. ペテロの信仰告白を前にしての祈り
8. イエスの変貌のときの祈り
9. 70 人の弟子が帰ってきたときの祈り
10. 「主の祈り」に先立つ祈り
11. 子どもたちを祝福したときの祈り
12. ラザロのよみがえりのときの祈り
13. ギリシヤ人がイエスに面会を求めたときの祈り
14. 最後の過越の食事での祈り
15. 最後の過越の食事の間での ペテロのための祈りへの言及
16. 将来、聖霊が信者の内に住んでくださることについての祈り
17. 大祭司としての祈り
18. ゲツセマネにおける祈り
19. 差し控えられた祈りについての言及
20. 十字架からの祈り
21. エマオ途上における祈り
22. 昇天を前にしての祈り

## □19 番「差し控えられた祈りについての言及」

聖書箇所 マタイ 26 : 53

1. 祈りそのものではなく、メシアが祈ろうと思えばできたはずの祈りについての言及
2. マタイ 26 : 51~53 「イエスと一緒にいた者たちの一人が、見よ、手を伸ばして剣を抜き、大祭司のしもべに切りかかり、その耳を切り落とした。そのとき、イエスは彼に言われた。「剣をもとに納めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます。それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今すぐわたしの配下に置いていただくことが、できないと思うのですか。」
3. 【補足】ヨハネ 18 : 10~11
  - (1) 剣を抜いた者は、ペテロ (ヨハネ 18 : 10)
  - (2) イエスの思い、18 番での苦悶を克服していることを示すことば 「父がわたしに下さった杯を飲まずにいられるだろうか」 (ヨハネ 18 : 11)

## □20 番「十字架からの祈り」

1. メシアが十字架の上で発したことばは、全部で 7 つ (5~6 ページに参考資料を付けています)。そのうち 3 つは、祈り
  - (1) ルカ 23 : 34
  - (2) マタイ 27 : 46、マルコ 15 : 34
  - (3) ルカ 23 : 46
2. ルカ 23 : 34 「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」
  - (1) イエスを十字架にかけている人々のための祈り
  - (2) 祈りの先：父なる神
  - (3) 祈りの内容：願い求め「彼らをお赦してください」
  - (4) 願い求める根拠：「彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです」
    - ① 赦しは、無知ゆえにイエスを十字架に付けた者たちに限られる
    - ② イエスに罪は無いと知っていながら、イエスを十字架に付けた者たちは、この祈りの対象には含まれない
3. マタイ 27 : 46、マルコ 15 : 34
  - (1) イエスが自分自身のために祈った祈り
  - (2) 大声で祈った祈り 「三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた」
  - (3) 祈りの先：「わが神、わが神」・・・このときイエスは、神の怒りの杯を飲んでいった。父なる神との間にあった、父と子の関係は切れていた。ゆえに、「わが父、わが父」とは呼ばずに、「わが神、わが神」と呼んだ。

## (4) 暗黒の時間帯

- ① この祈りの時点（午後 3 時ごろ）は、十字架にかけられてから 6 時間経過
- ② 十字架上の 6 時間の内、後半の 3 時間は、地上が暗黒に包まれた
- ③ 後半 3 時間の暗黒は、その間、イエスが神の怒りの杯を飲んでいて、そして父と子の関係が切断されていたことを暗示
- ④ 父なる神との関係切断＝神からの分離＝霊的な分離＝霊的な死

## (5) この祈りの答え

- ① この祈りから間もなく、地上に光が戻る（マタイ 27:45 によると、暗黒は午後 3 時まで）。暗黒から光へ。
- ② そして、イエスは霊的に復活する。それは、次の祈りで明らかとなる。

## 4. ルカ 23:46 「父よ、わたしの霊をあなたの御手にゆだねます」

## (1) 大声で祈った祈り 「イエスは大声で叫ばれた」

## (2) 「父よ、」

- ① 祈りの先を呼ぶことばが、「わが神」ではなく、「父」に再び戻っている
- ② 父と子の関係が回復した。この時点では、もはや霊的な分離状態ではない。
- ③ メシアは、十字架上で霊的な死を体験し、そして霊的に復活した。

## (3) 「わたしの霊をあなたの御手にゆだねます」

- ① 祈りの内容：父なる神の御手の中に、自分の霊をゆだねる、という特別な祈り
- ② これは、詩篇 31:5 の引用 「私の霊をあなたの御手にゆだねます。まことの神、主よ。あなたは私を贖い出してくださいます」
- ③ イエスの死は、自発的な死であった。
  - 「ゆだねる」とは、信頼して託すという意味
  - イエスは父なる神を信頼し、自分の人としての霊を、父なる神の御手のうちに託した。

## (4) 【補足】 46 節後半 「こう言って、息を引き取られた」

- ① 息を引き取られた **ギ** エ **ク** プ **ネ** オ **ウ** 【息を吐きだす、霊を放つ】
- ② 息を引き取ったではなく、息を吐きだした。
  - イエスは、自ら息を吐きだして、霊を放ち、ご自身の肉体と霊を分離させることで、死んだ。
  - イエスは、殺されたとか、命を奪われたわけではなく、ご自分で命を差し出されたのである。
- ③ ヨハネ 10:18 「だれも、わたしから命を取りません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。」

## □21 番「エマオ途上における祈り」

聖書箇所 ルカ 24 : 30～31

1. そして、彼らと食卓に着くと、イエスはパンを取って神をほめたたえ、裂いて彼らに渡された。すると、彼らの目が開かれ、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。
2. このときの祈りは、パンを祝福する祈り、ユダヤ人たちが当時していた典型的な祈りの一つであった。
3. 祈りの結果：二人の弟子たちの目が開かれて、イエスだと分かった。

## □22 番「昇天を前にしての祈り」

聖書箇所 ルカ 24 : 50～51

1. ルカ 24 : 50～51 それからイエスは、弟子たちをベタニヤの近くまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らから離れて行き、天に上げられた。
2. 昇天を前にしての祈り
  - (1) 祈りの姿勢：イエスは両手を上げて祈っていた。
  - (2) 祈りの内容：弟子たちを祝福していた。弟子たちのための祈りであった。
  - (3) 祈りの結果：この祈りがなされている間に、昇天が起きた。

## ■「イエスの祈り」の 22 の事例から見る 24 のポイント

1. イエスは、しばしば、一人になって祈るようにしていた。
2. イエスが祈りをした時間帯は、さまざまである。朝であったり、夕であったりである。
3. イエスが祈りをしたときの姿勢も、さまざまである。立って、ひざまずいて、あるいは顔を地面につけて、天を見上げて、というように。
4. イエスの祈りは、しばしば、重要なターニングポイントとなる出来事の直前に祈られている。
5. イエスは、大いなるみわざをするときにも祈った。
6. イエスは、プレッシャーを受けたときにも祈った。
7. イエスは、悲しみのときにも祈った。
8. イエスは、死の直前にも祈った。
9. イエスは、とりなしの祈りをした。ペテロのため、イエスを十字架に釘付けにした人々のため。
10. イエスの祈りの時間は、長短さまざまであった。夜通しや、1 時間など。

11. イエスは、父なる神に対して祈った。誰に祈るのか、父なる神である。
12. 祈りのタイプはさまざまである。請願、祝福、感謝、とりなし。
13. イエスは、聖霊に満たされ、喜びにあふれて祈ったことがあった。
14. イエスは、「祈りの本」によらずに、その時その場、自分のことばで祈った。
15. イエスは自分の感情が大きく動く中で祈ったことがあった。
16. イエスは、個人的にも公けにも祈った。
17. イエスは、ほとんどの場合、信者のために祈った。不信者のための祈りは稀である。
18. イエスが祈る動機の中には、神の栄光を含んでいた。そして、私たち自身と他の人々の霊的に益となることを含んでいた。
19. イエスの祈りは、漠然としてはいなかった。誰のために何を祈り求めるのか、はっきりとしていた。
20. イエスは、祈りの中で何かを願い求めるときには、その理由を明確にした。
21. イエスの祈りは、誰かと対話しているような調子であった。
22. イエスは自分の祈りがすべて聞かれているという確信をもっていた。その一方で、祈りの中で求めたことが、すべてそのとおりに答えられたというわけではない（マタイ 26 : 36~46）
23. イエスは、祈りの中で何かを願い求めるときには、父なる神のみこころにかなうのであれば、という条件付きで求めた。
24. イエスは、祈りの中で何かを願い求めるときに、その願いを繰り返す言うことがあった。

#### 【参考資料】

#### イエスの十字架から埋葬までの 30 の段階（「メシアの生涯」第 4 巻より）

（□は、十字架上での 7 つのことば）

1. メシアは十字架を背負う（ヨハネ 19 : 17）
2. クレネ人シモンが十字架を負わされる（マルコ 15 : 21）
3. エルサレムへの嘆き（ルカ 23 : 27~31）
4. ゴルゴタへの到着（マルコ 15 : 22）
5. 苦味と没薬を混ぜたぶどう酒をなめただけで、飲まず（マルコ 15 : 23、マタイ 27 : 34）
6. 十字架に釘付けられる（マルコ 15 : 24~25）
7. **第一のことば**（ルカ 23 : 34）「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」 分かっているイエスを十字架にかけたアンナスたちは対象外、彼ら＝直接的にはローマ兵たち（→使徒 3 : 17、I コリ 2 : 8）

8. イエスの上着を分ける (ヨハネ 19 : 23~25a)
9. 罪状書き (ヨハネ 19 : 19~22)
10. 他に二人が十字架刑に (マタイ 27 : 38)
11. 5 回目の嘲り (あざけり) (マルコ 15 : 29~30)
12. 6 回目の嘲り (マルコ 15 : 31~32)
13. 7 回目の嘲り (ルカ 23 : 36~37)
14. 8 回目の嘲り (マタイ 27 : 44)
15. 犯罪人のひとりの回心 (ルカ 23 : 39~42)
16. **第二のことば** (ルカ 23 : 43) 「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」
17. **第三のことば** (ヨハネ 19 : 25b~27) 母マリヤと弟子のヨハネに

---

18. 全地を覆う暗黒 (ルカ 23 : 44~45a) 12時から3時
19. **第四のことば** (マタイ 27 : 46) 3時頃、大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ (わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか) ← 詩篇 22 : 1
20. そこに立っていた人々の反応 (マタイ 27 : 47~49)
21. **第五のことば** (ヨハネ 19 : 28) すべてのことが完了したのを知って、聖書が成就するために言われた。「わたしは渇く」 詩 22 : 15 の預言成就、類例=ルカ 16 : 24
22. 酸いぶどう酒を飲む (ヨハネ 19 : 29)
23. **第六のことば** (ヨハネ 19 : 30) 「完了した」

---

24. **第七のことば** (ルカ 23 : 46) 大声で叫ばれた。「父よ。わたしの霊をあなたの御手にゆだねます。」
25. イエスの死 (マタイ 27 : 50、マルコ 15 : 37、ルカ 23 : 46、ヨハネ 19 : 30)
26. 地震、死者の蘇生、神殿の幕が裂ける (マタイ 27 : 51~53、マルコ 15 : 38)
27. 他の二人は足のすねの骨を折られ、窒息死。イエスはすでに死んでいたので脚の骨は折られなかった。兵士のひとりが念のためイエスの脇腹を槍で突き刺さした。すると、すぐに血と水が出て来た。(ヨハネ 19 : 31~37)
28. 遺体下げ渡しの願い (マタイ 27 : 57~58、マルコ 15 : 42~45、ルカ 23 : 50~52、ヨハネ 19 : 38)
29. 遺体を十字架から降ろす (マタイ 27 : 59a、マルコ 15 : 46a、ルカ 23 : 53a、ヨハネ 19 : 38b~40)
30. イエスの埋葬 (マタイ 27 : 59b、マルコ 15 : 46b、ルカ 23 : 53b、ヨハネ 19 : 41~42  
「亜麻布 (複数形) で巻いた」=細長い形状の布を何本か使って巻いた)

暗黒 (霊的な死)